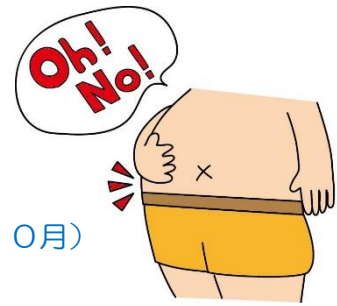


食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第77回 2024年10月)



風呂上がりにふと気づいた。脚のつけ根あたりに不気味なふくらみがある。指で触っても痛みはないが、奥の方に硬いしこりのようなものを感じるではないか。

(こ、これは……)

悪い想像が頭をよぎる。

食いしん防の母親と祖母は癌で死んでいる。ついに来るべきものが来たか、と思った。こう見えて気が弱い。余命宣告を受けたらどうしよう……。そんなことばかりが脳裏を駆けめぐった。

すぐ病院で診てもらった。問題のふくらみは、きわめて恥ずかしい場所にあったが、悠長なことは言ってもらえない。ひと思いにパンツを下ろすと、ドクターは触りもせず、ちら見ただけでこう言った。

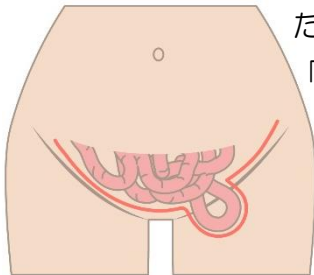
「ヘルニアですね。いわゆる脱腸」



説明を受けた。これは病気ではなく、老化現象の一つなのだとか。筋肉が緩んでできた隙間に、腸の一部がはみ出しているのだ。

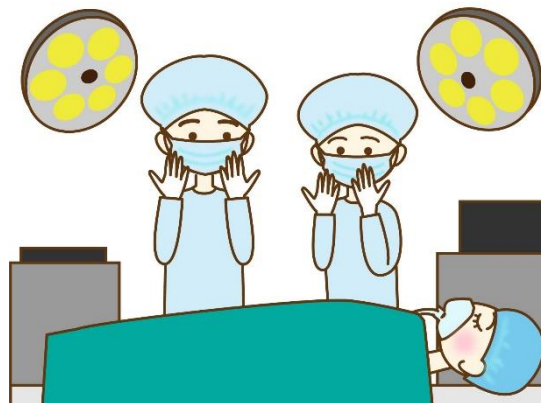
「治すには外科手術しかありません。このまま放っておいてもたいしたことありませんが、挟まれた部分が壊死しそうになると激痛が走って緊急手術になります。どうされますか？」

一も二もなく手術を選び、その場で入院の予約もしてきた。



というわけで、食いしん防は今月、人生で2度目の外科手術を受けることになった。今回はどんな騒動が起きるやら。興味深い出来事があれば、いずれこの欄で報告する。

皆さんも老化にはお気をつけください。何かヤバいと思ったら、すぐ病院へ行った方がええよー。



TOPICS

☆今年度2回目の防災部会議

湖東まち協の防災コミュニティ部会に属するメンバーのうち、7人が集まった会議が、先月行われた。

主な議題は、来月3日に開かれる『ことうふるさとまつり 2024』における活動内容について。過去にはステージでの『防災ウルトラクイズ』のほか、『かまどベンチを使ったハイゼックス炊飯体験』『防災食試食』などで参加してきた。昨年は啓発活動を離れ、子どもたちに楽しんでもらえるゲームコーナーを担当した。さて今年は……

結論を言うと、「**今年は1回休み**」となった。ただし、スタッフが足りない他部会の企画があれば、その手伝いをする。

また、こと防の秋の活動内容についても議論が交わされた。これらは実際のこと防活動にも反映される予定だ。

☆平柳町のサロンで出前防災ゲーム

先月 13 日、平柳町公民館のサロンにお邪魔して、『防災カードゲーム』の体験してもらった。

参加者は、役員も含めて 34 名。このゲームは、『毛布と竹竿で簡易担架を作る方法』『消火器の使い方』などのお題に従って、回答カード 4 枚を正しい順番に並べるというもの。中には難しい問題もありましたが、2名1組のチームで話し合い、**知らないことは経験と推理力で補って、みごと全チーム正解を出した。**

後半は、役員さんが用意したアルファ米の防災食をみんなで試食。長期保存ができるうえ、お湯を注げば温かいご飯が食べられる。乾パンに代表される昔の防災食は、パサパサで喉を通りにくかったりしたのだが、最近のものは改良されてずいぶん食べやすいものに。

参加者は、食料や水の備蓄の必要性について思いをはせていた。



今後の活動予定

- 10月 13日（日）防災運動会（北花沢町）
18日（金）災害支援市民ネットワークしが研修会
20日（日）防災運動会（長町）
23日（水）市内まち協防災連絡 Web 会議
11月 3日（日）ことうふるさとまつり 2024

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：アルファ米は、お湯をそそげば温かいご飯が食べられるとのことですが、被災時には湯が沸かせないことも多いはず。そうすると、せっかく備蓄してあっても使えないのでしょうか？

A：鋭い指摘ですね。ご安心ください。湯が沸かせない場合、水を入れても食べることが出来ます。ただし1時間ほどかかります。冷たいご飯になっちゃいますが、何もないよりマシ。何も口にしないで体力が落ちると、体調を壊しやすくなりますからね。食欲がなくても、食べることが重要です！

Q：脱腸なんですね。やーい、脱腸ダッチョ脱腸！

A：あっ、これはもはや質問ではなく、ただの揶揄ではないか。そんなに食いしん防の病気が面白いか。よーし、今に見ている。退院したらただじゃすまんぞ。

楽しい質問、お待ちしております！



（文責：こじまだっちょ）